

2025/9/1

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(8月25日~8月29日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,385.0	1,397.0	1,384.2	1,390.1	▲3.1
JPY/KRW	9.4042	9.4688	9.3920	9.4535	+0.072
KOSPI	3,195.14	3,212.69	3,164.08	3,186.01	+17.28

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンはパウエルFRB議長のジャクソンホール会合での発言を受けて米利下げ期待が強まったことで1,385.0ウォンでオープン。しかし、米インフレ懸念も根強く、翌26日には再度ウォン安が進行し、1,397.0ウォンの高値を受けた。韓米首脳会談では関税合意の内容の確認が主で、相場影響は限定的だった。しかし、高値圏では為替介入への警戒なども強く、揉み合い推移。28日のBOK会合では政策金利の据え置きが発表された。6人中5人の委員が今後3か月以内の利下げを支持していたものの、期待したほどハト派な内容ではなかったことから、その後ウォン安は一服。月末にかけては輸入企業の決済需要も見られ、やや反発。結局、前週末比▲3.1ウォンの1,390.1ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はレンジ推移を予想。今週は米雇用統計をはじめ重要指標の発表を多数控える。先月雇用統計が大幅に下振れしたことで、雇用情勢への懸念が強まり利下げ期待が拡大したこともあり、警戒ムードが継続しよう。ドル/ウォンは引き続き1,380ウォン~1,390ウォン付近での硬直推移の継続を予想する。先週1,380ウォン台では輸入勢などによる堅調な実需フローが相場を下支えしており、今週も同様の動きとなれば下値は限定的か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1370 ~ 1400	9.30 ~ 9.60	145.5 ~ 148.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 1日(月) 欧 8月 製造業PMI 確報値
- 2日(火) 米 8月 製造業PMI 確報値
- 米 8月 ISM製造業景況指数
- 韓 8月 CPI
- 3日(水) 米 7月 耐久財受注 確報値
- 欧 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 7月 製造業受注
- 中 8月 総合PMI
- 中 8月 サービス業PMI
- 韓 2Q GDP 速報値
- 4日(木) 米 8月 失業保険新規申請者数
- 米 8月 サービス業PMI 確報値
- 米 8月 ISM非製造業景況指数
- 韓 7月 国際収支
- 米 8月 ADP雇用統計
- 5日(金) 欧 2Q GDP 確報値
- 米 8月 非農業部門雇用者数
- 米 8月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。